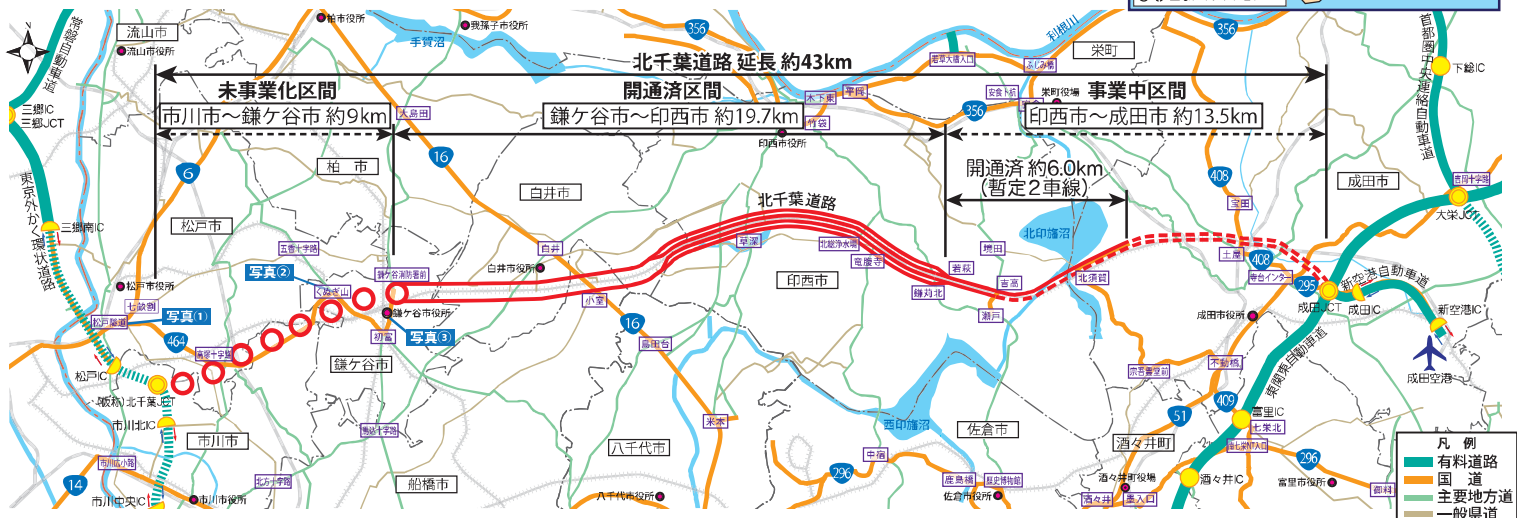


北千葉道路づくりに関する情報を みなさんにお届けしていきます

北千葉道路とは？

- ・一般国道464号北千葉道路は、市川市と成田市を結ぶ全長約43kmの道路です。
- ・東葛飾、北総地域の東西方向の骨格となる道路であり、首都圏北部、千葉ニュータウン、成田空港を結ぶことにより、国際競争力の強化を図るとともに、地域間の交流連携、物流の効率化など、地域の活性化に寄与することが期待されます。
- ・現在、鎌ヶ谷市から印西市間は、4または8車線で開通しており、印西市から成田市間は整備が進められていますが、市川市から鎌ヶ谷市間においても早期事業化が望まれます。



北千葉道路の必要性は？

周辺道路の渋滞の緩和

・市川市から鎌ヶ谷市間は東西方向の幹線道路が脆弱なため国道464号や並行する県道等では慢性的に渋滞が発生しています。新しい幹線道路となる北千葉道路が整備されることで、交通が分散され、渋滞の緩和が期待されます。

災害時の緊急輸送ネットワークの強化

・緊急輸送道路1次路線となっている国道464号や並行する国道356号、国道296号とも2車線しかなく、いずれも緊急輸送道路として脆弱なため、災害時の緊急輸送ネットワークの強化が必要です。

■周辺道路の渋滞状況

- ① 国道464号 松戸隧道交差点付近 ② 国道464号 くぬぎ山交差点付近 ③ 国道464号 鎌ヶ谷市役所付近

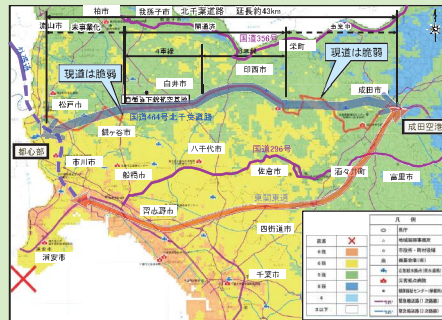


交差点を先頭に慢性的に渋滞

上下方向ともに渋滞が多発

地域の交通に大型車が混入

■東京湾北部地震の想定震度分布図



出典: 千葉県地震防災地図 H24年度 | 想定震度分布図(東京湾北部地震)

混雑により救急搬送に支障(北初富駅付近)



成田空港等の拠点への広域高速移動の強化

- ・北千葉道路周辺は物流施設、商業施設等が多数立地しており、北千葉道路の整備により生産性の向上が期待されます。
- ・北千葉道路周辺地域は、高速道路のインターチェンジへのアクセス時間が30分以上かかり、地域の機能強化のため、広域高速移動の強化が必要です。
- ・湾岸部(京葉道路・東関東道)は渋滞が多発していますが、外環道が開通後、北千葉道路は成田空港への最短ルートとなり、湾岸部の渋滞緩和も期待されます。

■インターチェンジまでのアクセス時間(外環道開通後)



■北千葉道路(千葉ニュータウン)周辺の主な企業立地状況

